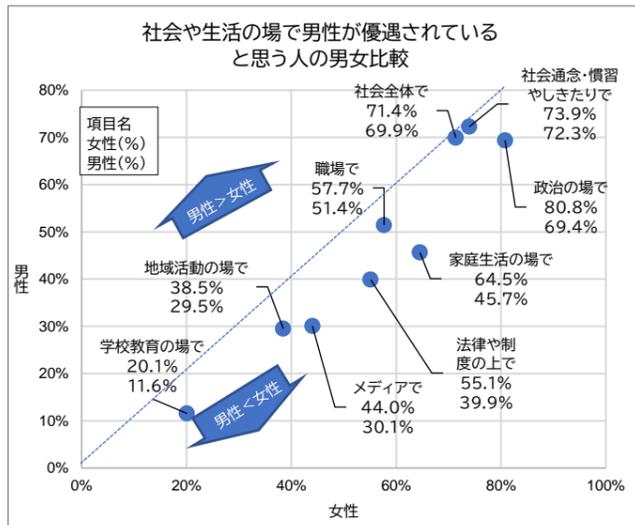
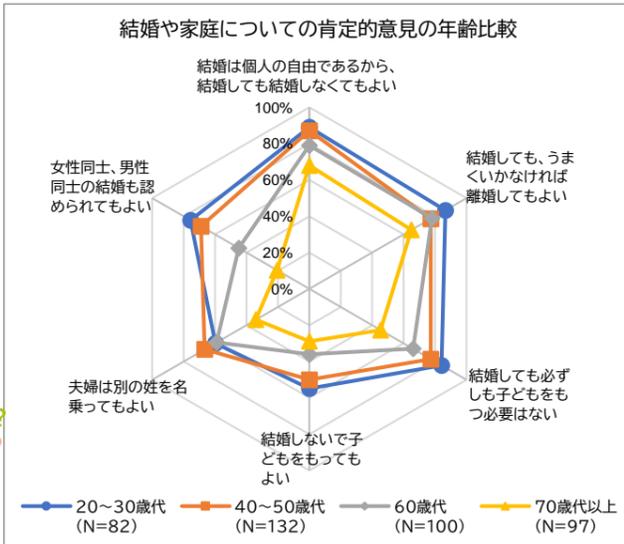


あなたはごどう思いますか？

河南町男女共同参画に関する意識調査(令和4年2月)より



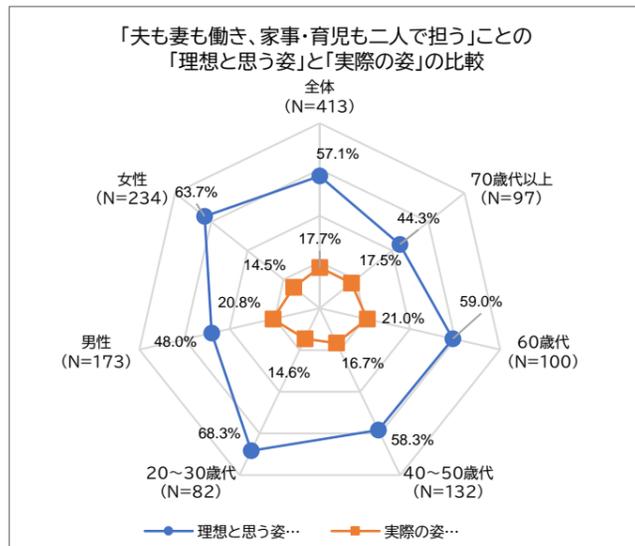
社会や生活の中に、男性が優遇される仕組みや考え方、習慣、しきたりなどが根強く残っています。また、男性と女性ではその感じ方に違いがあるようです。あなたはごどう思いますか？



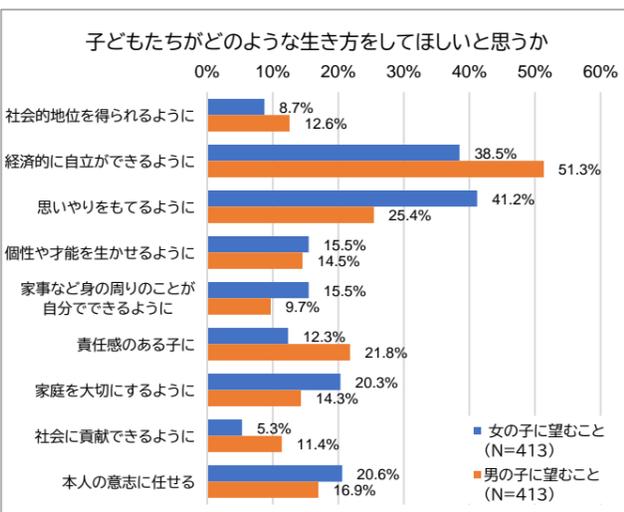
結婚や家庭についての考え方はずいぶん変わってきました。しかし、まだまだ、年齢による考え方の違いは大きいようです。結婚しない選択、離婚、夫婦別性、同性婚等々、あなたはごどう思いますか？



夫も妻も働き、家事・育児も二人で担当する。それが理想と考える人が増えています。しかし、実態は理想と大きくかけ離れています。あなたは、どうすれば理想と現実のズレを埋めることができると思いますか？



女の子は「思いやりをもてるように」、男の子は「経済的に自立ができるように」育てたいと思っている人は多いようです。女の子に「経済力」、男の子に「思いやり」は重要でない？あなたはごどう思いますか？



かなんジェンダー平等推進プラン

《2023~2032》

プラン策定の趣旨

本プランは、ジェンダー平等に関する近年の世界・国・府の状況や住民意識調査の結果等を踏まえ、「河南町男女共同参画推進条例」(平成25年(2013年)4月施行)の理念を実現することをめざして、ジェンダー平等の施策を推進するための基本方針を示したものです。

プランの位置付け

本プランは、「男女共同参画社会基本法」第14条に基づく市町村男女共同参画計画です。「第5次男女共同参画基本計画」及び「おおさか男女共同参画プラン」(2021-2025)との整合を図りながら、前プラン(かなん男女共同参画プラン~第2期~)を受け継ぐ計画として策定しました。

また、すべての女性が能力を最大限に発揮することができ、性別にかかわらず、すべての人に平等な機会が与えられる社会をつくるという「ジェンダー平等」の実現に向けた計画であることをより明確にするため、プランの名称をこれまでの「かなん男女共同参画プラン」から「かなんジェンダー平等推進プラン」に変更しました。

ジェンダー平等は性の多様性を認めあうこと、個人の尊厳を尊重し合うことから始まります

- ✓ ジェンダー(gender)とは、生物学的な性別(sex)に対して、「男らしさ」「女らしさ」というような社会的・文化的につくられる性別のことを指します。「男だから、女だから、こうあるべきだ」という無意識の思い込みや一方的な決めつけに、違和感や生きづらさを感じる人がいます。
- ✓ その他にも、どの性別を好きになるかという「性的指向」や、自分がどの性別だと認識しているかという「性自認」があります。

あなたと私の「個性」が違うように、ひとりひとりの「性」も違うのです。

プランの基本理念

みとめあい、ささえあい、自分らしく かがやく

ジェンダー平等のまち かなん

プランの期間

本プランの期間は令和5年度(2023年度)から令和14年度(2032年度)までの10年間とします。ただし、中間年度である令和9年度(2027年度)及び最終年度の令和14年度(2032年度)には計画の進み具合を評価するとともに、必要な修正や変更を行います。

かなんジェンダー平等推進プラン《2023~2032》概要版

令和5年3月

発行 河南町
 大阪府南河内郡河南町大字白木 1359 番地の 6
 問い合わせ 河南町人権男女共同社会室
 0721-93-2500(内線 126)

基本理念 みとめあい、ささえあい、自分らしく かがやく ジェンダー平等のまち かなん

基本目標Ⅰ【みとめあう・はぐくむ】 ～互いの人権尊重の推進～



めざす姿

目指そう 郷土を愛し人権を尊ぶ希望に満ちたまちを

- 個人としての尊厳を尊重する意識が育ち、様々な人々が地域で共に暮らしている。
- 全ての住民のメディア・リテラシーが向上している。
- すべての住民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らしている。

重点目標① 人権意識の高揚

性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができるジェンダー平等社会の実現をめざし、啓発活動を充実します。

重点目標② メディアにおける人権の尊重

性別に基づく固定観念にとらわれず、ジェンダー平等の視点に立った表現の推進に努め、メディア・リテラシーの育成・向上を図ります。

重点目標③ 生涯にわたる健康・権利の尊重

誰もが生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことのできる社会の実現に向けて、健康づくりの取組をさらに進めていく必要があります。そのためにも、自らの身体について正しい情報を持てるように情報提供および啓発に努めるとともに、特に女性の自己決定権が尊重されるようなライフステージに応じた身体と心の健康管理・保持増進を促進します。

基本目標Ⅱ【きづく・ひろげる】 ～ジェンダー平等社会の実現に向けた意識づくりの推進～



めざす姿

造ろう 健やかな人間をはぐくむ文化発展のまちを

- 学校やこども園で個人を尊重する教育が取り組まれ、ジェンダー平等の意識づくりが進んでいる。
- ジェンダー平等実現に向け、社会制度や慣行の見直しが進められている。
- 町職員の人権意識が高まり、自らの課題として一人ひとりがジェンダー平等推進のための施策に取り組んでいる。



重点目標① 学校・園におけるジェンダー平等の意識づくり

子どもの意識形成に重要な役割を果たす学校教育現場等において、教職員、児童ともに、無意識に男女の役割に対する固定的な価値観を植え付けていく「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」の解消に向けて取り組んでいきます。

重点目標② 社会における制度、慣行の見直しとジェンダー平等の意識づくり

アンケート結果からも見えてきたように、家庭生活では、家事・育児・介護などで女性にかかる負担が多く、固定的な役割分担意識が根強く残っています。その意識は、子ども期からすり込まれているケースもあります。性別役割分担のない家庭づくりを促進します。

重点目標③ ジェンダー平等推進のための町職員の人権意識の強化

女性職員のキャリアアップ支援に努め、政策・方針決定過程への女性の参画を強化します。また、ジェンダー平等の視点をふまえた政策の推進を常に意識づけ、職員の研修も実施します。

基本目標Ⅲ【かがやく・いきる】 ～あらゆる分野における女性活躍の推進～



めざす姿

築こう 働く喜びと生きがいのあるまちを

- 職場、地域や行政など、あらゆる分野で女性が活躍している。
- ワーク・ライフ・バランス(家庭と仕事の調和)向上に向けた意識改革が進んでいる。
- 性別に関わらず皆が協力して地域活動やボランティア活動を推進している。
- 子育てや介護に関わる男性が増えている。
- 防災やまちづくりに関する女性人材の育成が進んでいる。
- 性別に関わらず個性を發揮することができる職場が増えている。



重点目標① あらゆる分野における積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の推進

ジェンダー平等社会の形成にあたっては、性別に関わらず皆が社会の対等な構成員として、政策・方針決定過程にともに参画することが極めて重要です。

重点目標② 家庭と仕事の両立支援

誰もが、個性と能力を十分に発揮できるような多様で柔軟な働き方ができる環境整備を推進します。

重点目標③ 地域活動やボランティア活動への参画

地域社会は生活する人の安全・安心を支える最も身近なコミュニティであり、女性もこのような地域社会の運営に参画し、活動を担っていくことが重要です。

重点目標④ ジェンダー平等の視点からの子育て支援・介護支援の充実

ジェンダー平等の実現に資するため、子育てや介護における負担の軽減を図ります。

重点目標⑤ 防災・環境問題へのかかわり

ジェンダー平等の視点を反映した防災・まちづくりに向け、女性人材の育成や情報発信に取り組みます。

重点目標⑥ 働く場でのジェンダー平等

性別に関わらず、あらゆる分野で、持てる能力を發揮し、生き生きと働くことができるよう、職場におけるジェンダー平等の実現を促進します。

基本目標Ⅳ【やすらぐ・ささえあう】 ～安心して暮らせる社会づくりの推進～



めざす姿

育てよう 思いやりと安らぎのある楽しいまちを

- 配偶者や恋人に対するあらゆる暴力の根絶に向けた取組が進められている。
- 様々な困難を抱える女性が安心して暮らせるまちづくりが進められている。
- 新型コロナウイルス感染症の流行によって深刻な影響を受けている女性の資格取得等、キャリアアップへの支援や女性の経済的自立の支援が進められている。
- 住民・民間団体・事業所・町・関係機関等が協働・連携してジェンダー平等の取組が進められている。



重点目標① 配偶者や恋人に対するあらゆる暴力の根絶

配偶者や恋人に対する暴力は、身体的な暴力に限らず、精神的、経済的または性的な暴力も含めて重大な人権侵害であり、こうした暴力を容認しない社会づくりをめざします。

重点目標② 様々な困難を抱える人々への支援

日常生活に困難がある人々、経済状況が不安定な人々の生活の安定に向けて、ニーズに応じた支援に取り組みます。また、令和6年(2024年)4月から施行される「困難な問題を抱える女性支援法」も活用し、困難な状況に置かれている人々の人権が尊重され安心して暮らしていける社会づくりに取り組みます。

重点目標③ 新型コロナウイルス感染症等への対応

令和2年(2020年)以降に流行した新型コロナウイルス感染症は、人々の生命や生活に大きな影響を及ぼしました。失業・DVの増加、生理の貧困など、とりわけ女性への影響が深刻であり、ジェンダー平等を推進するとともに、誰一人取り残されない、多様性と包摂性のある社会の実現に取り組みます。

重点目標④ ジェンダー平等推進のためのネットワークの構築

町内で活動している様々な団体の取組を把握するとともに、それぞれの活動を尊重し、情報交換を図りながら、計画推進のためのパートナーシップを強化します。